

## デジタル R&D 機能の強化によるグループ DX の推進 ～イーデザイン損保のインシュアテック保険会社への変革～

東京海上ホールディングス株式会社(取締役社長グループ CEO:小宮 暁、以下「当社」)は、これまでグループ全体でテクノロジーやデータを活用した新たな価値提供を推進してきました。今後、国内外のスタートアップや海外デジタル保険会社の最先端テクノロジー・ビジネスモデルをグループ内に還元し、さらに DX を推進していくため、東京海上グループのダイレクト損害保険会社であるイーデザイン損害保険株式会社(取締役社長:桑原 茂雄、以下「イーデザイン損保」)を新たにグループのデジタル R&D 拠点として位置付け、インシュアテック<sup>※1</sup>保険会社へ変革させます。

※1 インシュアテックとは、保険 (Insurance) とテクノロジー (Technology) を掛け合わせた造語です。

### 1. インシュアテック保険会社へのトランスフォーメーション

これまで当社では、最先端のデジタル技術の研究・活用を目的に、近年欧米で存在感を増しているインシュアテック保険会社である Metromile 社(米国)や Lemonade 社(米国)等との協業を実施してきました。

当社では、これらのインシュアテック保険会社から得られた知見を東京海上グループに還元し、グループの DX を推進していますが、今般イーデザイン損保をインシュアテック保険会社へ変革させることで、グループ全体のデジタル R&D をさらに加速させるとともに、お客さまと社会に新たな価値を創造していきます。インシュアテック保険会社への変革の第一弾として、フルクラウド型システムやマネージメントトランスフォーメーションなどを導入し、機能・体制の強化を実施します。

#### (1)フルクラウド型かつ先進的な保険システムの導入

イーデザイン損保では、デジタル時代のスピードおよびお客さまのニーズ変化に合わせた体制を構築するため既存のシステム基盤を全面刷新します。スマートフォンからのアクセスを前提としたサービス設計、ビジネス環境の変化に迅速な対応を可能とするマイクロサービスアーキテクチャ<sup>※2</sup>の導入、データに基づく意思決定モデルを支える基盤、エコシステムとの柔軟な連携や高いセキュリティレベルなど、デジタル時代にあわせた先進的な保険システムをフルクラウド環境で構築し、2021年11月18日より本格稼働します。なお、当システムは、協業各社の支援力や製品優位性を最大限に引き出すべく、マルチベンダー態勢で臨み、短期間(約2年)での構築を実現しました。

このフルクラウド基盤により、人工知能(AI)、データ分析、RPA(Robotics Process Automation)、IoT、外部との API 連携など、さまざまな先端テクノロジーを高い柔軟性をもって組み合わせることができるため、お客さまの声を今まで以上に柔軟かつ迅速に反映し、保険商品・サービスの改善等につなげることが可能となります。

※2 マイクロサービスアーキテクチャとは、個々のシステム機能を独立したサービスとして実装するもので、サービス毎に短期間で柔軟に拡張・変更・開発ができるといった特徴があります。

#### (2)データ駆動型でアジャイルな経営意思決定(マネージメントトランスフォーメーション)に向けた体制強化

イーデザイン損保では、グループ内外の多様な組織とのコラボレーションを加速させます。また、アジャイルな開発体制の整備、フラットでオープンな意思決定を促す仕組みを取り入れることで、さらなるイノベーションが生まれる環境を創出します。

### ① アマゾン ウェブ サービス ジャパン社やシナモン AI 社との協業

アマゾン ウェブ サービス ジャパン社が提供する「Digital Innovation Program」を活用し、新たなアイデアを具現化させる仕組みづくりを加速させます。また、国内有数の AI スタートアップであるシナモン AI 社<sup>※3</sup>とも協業し、パーパスドリブンな AI 成長戦略の実装を推進します。

※3 シナモン AI 社は、“創造あふれる社会を、AI と共に”をミッションに、顧客のコア業務を革新し、DX を推進することを目指し、AI コンサルティングと AI プロダクトを提供しています。(URL:<https://cinnamon.is/>)

### ② 東京海上ディーアール社との協業強化

東京海上グループのデータ中核機能を担う会社として 2021 年 7 月に始動した東京海上ディーアール社と、2021 年 4 月にイーデザイン損保内に創設したビジネスアナリティクス部との協業を強化します。自動車走行データ分析機能の強化(連携)などを通じて、イーデザイン損保のデータ駆動型の経営を加速させます。

### ③ 副業人材の活用(パーソルイノベーション社)

2021 年 3 月にイーデザイン損保は、パーソルイノベーション社が運営する副業人材マッチングサービス「lotsful(ロツツフル)」と提携し「イーデザイン共創スタジオ(e-design Co-creation studio『eCs』)」を設立しました。「eCs」では、社外の自由な知見を活かしながら、これまでの保険の概念に捕らわれない自由な発想のもと、未来の保険サービスについて検討を進めています。

## 2. 共創型自動車保険「&e(アンディー)」の発売

グループのデジタル戦略に基づく保険商品として、イーデザイン損保から新たな自動車保険「&e(アンディー)」を発売開始します。一人ひとりのお客さまに寄り添い、事故にあうお客さまを一人でも減らすため、「&e」では IoT センサー<sup>※4</sup>とスマートフォンを連携させた安全運転サービスを提供するなど、最新テクノロジーを活用してお客さまに新たな体験を提供します。詳細はイーデザイン損保のニュースリリース([https://www.edsp.co.jp/company/company\\_010/2021/2021\\_11\\_18.html](https://www.edsp.co.jp/company/company_010/2021/2021_11_18.html))をご覧ください。

※4 提供する IoT センサーは、イタリアの OCTO Telematics (OCTO)社製です。2002 年にイタリアで設立された OCTO は、自動車メーカー向けのテレマティクス・サービスの世界最大手です。(URL:<http://www.octotelematics.com>)

東京海上グループは、グループ全体で最先端のテクノロジー・ビジネスモデルの活用を進めることで、より良い社会の実現を目指します。これからもお客様・地域社会の“いざ”というときを支えるため、“いつも”支えることができる存在へと挑戦してまいります。

以上